

岡山市地域公共交通利便増進実施計画(概要)

【作成主体】岡山市 【区域】岡山市全域 【計画期間】令和6年4月～令和10年3月

課題・背景等

岡山市では複数のバス事業者が市内中心部に乗り入れているが、需要の大小に関わらず、大型車両で運行され、運転者不足、路線の重複等の問題がある一方で、自家用車への依存が非常に高く、公共交通の経営は厳しい状況。このため、需要に応じて幹線と支線(車両の小型化)に分割するバス路線の再編を行うとともに、乗り継ぎ環境の整備、ICカードシステムの導入等を図り、利便性の高い公共交通サービスを安定的に提供する。

事業内容



現状



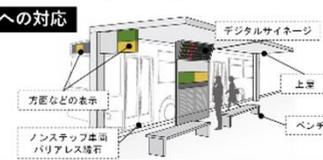
再編後



課題となる「乗り換え」への対応

乗り継ぎ環境の整備

- 待ち時間少ないダイヤ
- 座って待てるバス停
- 接近情報の提供
- 直通運賃 など



効果

- 需要に応じて幹線と支線に分割(駅・商業施設・病院へ接続)
- 重複路線の集約等により、生み出された余力で支線を新設・延伸・増便
- 支線は小型車両で運行(運転者不足の解消にも寄与)
- 運行経費の削減及び普通2種免許での運行が可能となるため

今後の検討課題

わかりやすい運賃体系の構築(ゾーン制運賃の設定)やパーク&ライド・サイクル&ライドの拡充など、公共交通のさらなる利便増進を図るため、引き続き各施策の実施に向けて、関係事業者、周辺自治体との協議を推進する。